

『授業連携報告書』

学校名	四日市市立常磐西小学校					
授業のテーマ	JAXAや宇宙に関する仕事について知ろう プログラミングを体験しよう					
目標(授業連携をした目的等)	総合的な学習の時間では、キャリア学習に取り組んでおり、一つの職業として調べ学習だけでは学ぶことのできない、はたらく人との出会いから学ぶ。 プログラミング操作やプログラミング的思考について学ぶ。					
実施対象	学年	6年	4	クラス	合計	139 名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)	総合的な学習の時間			
単元	発電と電気の利用 仕事について調べよう		授業日	2	月	16, 17 日
授業連携の前後の授業内容について						
前	いろいろな仕事について調べる 月と太陽、地球の位置関係について学ぶ					
後	自分の学んだことをまとめる。将来の自分の仕事について考える。 プログラミングミッション3に取り組む、自分でもプログラムを試みる。					
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子		学校(先生)の 役割・活動		
導入 35分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について JAXAについて 宇宙飛行士の資質・選抜について 	<ul style="list-style-type: none"> 興味を持って話を聞く様子が見られた。 JAXAが自分たちの生活に身近なところで関わっていることに驚いていた。 宇宙飛行士にはいろいろな経歴や年齢の人たちが就いていることを知って驚いていた。 		<ul style="list-style-type: none"> 機材の準備、調整 子どもの反応に対する補助 挙手に対する指名 		
展開 50分	<ul style="list-style-type: none"> 人工衛星について スクラッチについての説明 スクラッチで人工衛星を制御するプログラムに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人工衛星の役割や制御についてのクイズに楽しく取り組み、挙手して答えていた。 スクラッチの操作に慣れている子は、説明を聞きながらも、自分でプログラムをアレンジして進めていた。初めての操作の子は、話を聞きながら時には友だちに教えてもらいながら取り組んでいた。 自分が命令したとおりに人工衛星が作動すると、とてもうれしそうであった。うまく作動しないときは、どこに問題があるのかを友だちの画面と見比べながら解決しようとする姿が見られた。 		<ul style="list-style-type: none"> プログラムの配付 ネットワークにつながっていない子への対応 操作がうまくいかない子への補助 		
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 人工衛星の役割や制御の方法についてまとめる。 ミッション3のヒントを提示する。 授業直後アンケートに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングをもっとやりたい様子の子がたくさん見られた。 すぐにミッション3にチャレンジし、完成させている子もいた。 宇宙やプログラミングに興味を持ったと感想に書く子がたくさんいた。 		<ul style="list-style-type: none"> アンケートの配付 ミッション3のヒントの提示 		

授業連携の感想・メモ

宇宙という遠い存在を、キャリアの視点から話してもらうことで、自分たちにも関わることができるかもしれないという思考に変えさせることができた。宇宙飛行士に求められる資質についての話は、どんな仕事にも共通する大切なこととして子どもたちはとらえることができた。人工衛星がプログラミングで制御されていることから、スクラッチを使ってのプログラミングにつなげたが、自分が命令したとおりに人工衛星が作動することで、その仕組みが分かった。一つでも指示を間違えると、その通りにならないことから、正確性が求められることを学んだ。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
プログラミングに苦手意識や不安感を持っていた子が、またやってみようという思いを持つようになった。宇宙で働く仕事が自分の職業選択の中に入った子もいた。	
※②で「はい」とお答えの方、その理由を教えてください。	